

### 石城に天然痘侵入 實は該當者がなし

#### やつと安心した地元民

鳴子温泉が伊源地と云はれる天然痘の本縣侵入は地方民に異常な恐怖を興へてゐるが昨十八日宮城縣警察部から小名濱町の漁夫佐藤清治なるものが同温泉に湯治中天然痘に罹つた疑ひがあると町役場に通知され平素の手で嚴重なる調査をなしたるも該當者がなしで漸く安堵した、尙ほ平

### 小名濱の舗装竣工 来る三月末日迄には確實に

小名濱本町通りの舗装工事は、物資難のため工事半ばで放置されその不安があつたが其の後セメントの圓滑な配給を受けて俄かに捗り今年度内に竣工を見込まれてある同舗装は小名川橋から西へ六百米この工費三萬圓に及ぶもので都市の面目を一掃することになった

### 第二十八回の 磐女卒業式

磐城高女第二十八回卒業式は昨十八日午前十時同校講堂で舉行了今期卒業生は二百三十一名で優等生は  
梅津吉子、小島郁子、櫻場美代、佐藤光子、佐藤良子、田村麻子、増井セツ

石城郡玉川村小學校の大字島通學團左記二十名は小遣錢を持ち寄つた金二圓四十五錢を軍事郵便機送金へ昨十八日献金した

### 島通學團兒献金

就職決定四五 家庭從事九七以上

### 泉驛前の縣道改修 總工費三萬圓六月竣工

常磐線泉驛前の縣道に添ふ廣屋移轉の承諾を得たので測量場から小名濱町に向ふ道路は急角度なコノ字カーブを僅かに二百米ほどの間に連続するのでこれが改良工事を計費中であつたが地元の濱地及び家竣功の豫定である

### 中堅農講證書授與式 男三八、女二四名の終了に

石城郡中堅農講協會は去る十一日縣農試石城分場の農事特別傳習で終講、明後二十一日平市郡團休事務所樓上に於て證書授與式を舉行されるが終了者は次の如く男男八名、女十四名計五十二名である  
▲植田町小川良作、錦村古川清、同根本太一、勿來猪狩安雄、同芳賀定雄、上遠野鈴不重、田村村輝田信平、同後川重太郎、同内山秀次、飯野久田大助、飯野小野正雄、同加藤幸一、夏井新妻弘毅、同鈴木喜作、同片寄勲、夏井猪狩治、同泉正二、同田中宏、玉川石井幸平、好間大谷徳雄、同

君は寒くありませんか  
はニールンブロン、大して寒くありませんか  
不冷不熱でプターロン  
今後まだ雪が降りそう  
ですかと云ふをば回頭  
還り下雪露でホイットウ  
ハオヤオシアシユエマ

▲鹽野庄太郎、鈴木和成、遠藤泰弘、小泉市郎、鈴木昭美、遠藤安正、鈴木利昭、小泉光一、穴戸つきを、鈴木貞三郎、穴戸つきを、鈴木陽一、鈴木實、小泉博美、遠藤武、小泉清次、草野秀幸、高秋良一、掛野清彌、草野八郎(以上)

### 積雪は四、五寸程度

本市立町出身 鈴木 清、鹿所(小名濱、玉川、泉、鹿島、豊間、江名)  
援護事務講習  
平市公會堂にて  
平市及び石城郡各町村の統後援護事務講習會は明二十日か二一日の二日間平市公會堂に於て開催する  
鎌田青年團總會  
平市字鎌田町青年團では明後二十一日午後一時同町熊野神社に總會を開き團の改組に伴ふ退團者に記念品を贈呈する

### 軍用馬査閲

平市及び石城郡下の十四年度軍用保馬聯合檢査ならびに査閲は左の日程で訓致、廣地騎乗、障得通過、休憩、行軍の五方面から實施される  
▲三月二十五日平市鐵線所(平、飯野、高久、内郷、夏井、神谷、好間)  
▲三月二十六日小名濱鐵線所

### 植田署轉徒檢査

石城郡上遠野村の料亭鈴木と市山田秋之助(三)錦村の土木請負業工藤午之助(四)ほか数名が賭博開帳中植田署員に踏込まれて檢査された、また同署管内泉村の某方でも賭博を開帳してゐた金澤長作ほか五名が檢査されて取調中

戦地の便り (下) 永洞 健藏  
「野病」輜重部の  
本分を盡してまます  
其の間小生も時こそ来たれり、一死奉公は此の時と彼の郷土出發の折皆様の歡呼の聲が腦裡に浮び我こそ武勳をたて郷土の新聞紙上を賑はさんと機のを待つて居りましたが何分にも小兵等は兵科の關係上歩兵科の如き華々しき活躍が出来ず九月十五日残念ながら幸か不幸か停戰協定成立と共に再び〇〇〇駐屯地に歸還致しましたが我が「野病」

### 石城産婆看護婦 校の卒業式

平市石城産婆看護婦學校第四十九回卒業式は今十八日午後一時舉行した卒業生左記の如くである  
▲産婆科伊藤サク、伊藤重子、猪狩スミ、猪狩スエ、岩城アキ、箱崎テル、箱崎キヌ、橋本ハルノ、林富枝、西山千代重、星ミイ、戸田シメ、岡田花子、大森ケイ子、小川しも、若松澄子、渡邊マサ子、鎌田あき角、竹内スエ、筒井サヲヨ、仲給サツキ、中山ハルノ、野トシエ、永山なかよ、永瀬ミチ子、永山キヨ、武藤年子、熊田ミヤ子、國玉レ、馬目ミツ、馬目マサ、後藤たま、小池アサヨ、牛塚マツ、荒川ハツ子、阿部ヨネ子、佐藤フサ子、坂本アイ子、佐藤千代子、齊藤ユキノ、佐藤アイ子、鈴木マキ子、鈴木マサ子、鈴木マヨ子、鈴木ハナ子、以上五十五名  
▲看護科伊藤サク、伊藤重子、猪狩スミ、猪狩スエ、石川秀子、岩城アキ、箱崎テル子、橋本ハルノ、西山千代重、星ミイ、戸田シメ、大森ケイ子、岡田花子、小

川しも、小野シズイ、大和田操、若松澄子、渡邊マサ子、鎌田あき、金成ミヨ子、金成フヨ子、金成シヨ子、角間千代子、吉田ユウ、吉田ヨシノ、高木マサ子、武田すよ子、竹内スエ、條田利子、根本悦子、長瀬ミチ子、仲給サツキ、中野トシエ、中山ハルノ、永山ナカヨ、永山キヨ、永山ナカヨ、武藤年子、野崎澄子、國玉レ、熊田ミヤ子、山野遊子、増子トミエ、馬目ミツ、馬目マサ、小池マサヨ、小玉

父貫一儀永々病氣加療中の處藥石効なく十六日午後十時死去仕候間此段御通知に代へ謹告仕候  
追而葬儀は三月二十日午後一時自宅出棺九品寺に於て佛式により執行仕候  
昭和十五年三月十七日  
施主 男 渡邊喜作、渡邊重美、渡邊平治、須賀庄治、菅飯本、友入總代

優良なる 金鑛區を買ひ 優良なる 石炭鑛區を買ひ (姓名在社)

# 産業方面

## 桑園の強敵を忘れるな

介殺虫の防除法  
桑の強敵介殺虫の防除につ  
き埼玉縣熊谷蚕業試験場小澤  
技手は左の如くこれが早期驅  
除を縣下十萬の養蚕家に呼び  
かけた、即ち、

介殺虫は現在、雌のみが枝  
條の木部に寄生して居り四  
月下旬頃から産卵をはじめ  
五月上旬孵化、雄はそのま  
ま成虫となつて繭を作るが  
雌は六月中旬から七月にか  
け第二回の産卵を開始し孵  
化した幼虫は九月頃またま  
た産卵實に一回に三、四十  
卵づゝ一年に三回に亘つ  
て産卵するので、

一度介殺虫につかれると見る  
／＼うちに収獲量を減少、桑  
園が枯死する結果となる、根  
刈仕立の場合には枝葉が養蚕シ  
ーズ毎に更新されるので被  
害も軽いが、中刈仕立や特殊  
な條桑仕立のものは枝條が更  
新されるのでこれに寄生した  
介殺虫は猛烈に繁殖し桑園に  
大被害を及ぼすのである、

○驅除方法、二月、三月の  
間にマシン油乳劑(又はマ  
シン油)をハケで患部に塗  
布するかペーメ比重の石灰  
液(原液を五倍ぐらゐに稀  
めたもの)を噴霧器で撒布  
するか、ボロ切れにつけて  
塗布する等右二法を毎年春  
中行事に行ひ被害の大きい  
ところは一年産卵前前に一  
回乃至二回行はねばならな  
い、藥劑の効果は永続する  
ものでなく石灰同劑の如き  
一週間も日光に晒せば殆ん  
ど効果なく再び繁殖を始め

スペイン GHN 元詰

## ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒

御婦人の方には少し水を加へて  
召し上ると風味一そう佳良です

(平二) 西村屋薬舗 (電三)

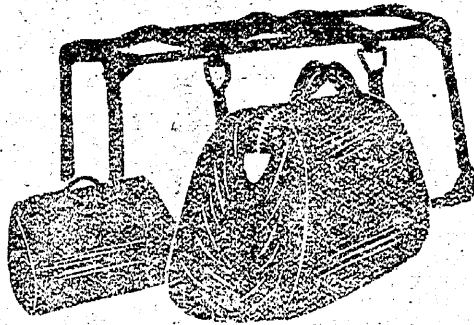
るからである(終り)

### 肉の御用命は

# 三三三屋

## 牛も豚も優良品の自慢

### 類品洋とンバカ



(話電) 屋砂真 (前驛、市平) (り通道新)

### 女販賣員を募る

△採用員 五 名

△年齢 十八歳—二十歳

◎詳細ハ平職業紹介所ニ問合せ下サイ



平 市 三井呉服店

電話 三八四

# お醤油は

## ヤママル

醤油、味噌、  
たひら正宗  
鯉節食料品



山崎合名會社

電話 本業部 二七〇番

明治生命製城代理店

山崎與三郎

### 専門 皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より  
午後九時まで

## 院醫尻江

醫學博士 江尻伊三郎

平市田町 電話六九二番



## 店商屋釜

九九・九電

和洋銅鐵、金物問屋

### 診療科目

- 一、齒科一般  
保存科、補綴科、組織架工科、  
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
- 一、口腔外科
- 一、レントゲン科

## 中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野忠次  
日本醫學士 鹽谷伍郎  
主任 佐藤重義

### 電話 買ひます 電話 賣ります

## 五十嵐 茂

電話 六一六

### ◎生徒募集◎

【一】募集人員  
654321、本科一年(二ヶ年卒業) 五十名  
裁縫專修科一年(二ヶ年卒業) 百名  
師範科(二ヶ年卒業) 二十名  
専攻科(二ヶ年卒業) 三十名  
本科、裁縫專修科二年(補欠入學) 若干名  
、「附設」洋裁科(六ヶ月修了) 二十名

【二】學入手續  
右各科共入學ヲ許ス、志願者ハ本校規定に學  
證書ニ適當肥入捺印ノ上二月一日ヨリ三月三  
十日マデ平市藤田女學校ニ提出シナサイ、  
追而提出書類考査ノ上證書交付ノ順ニ依リ入  
學ヲ許可致シマス、◎詳細ハ本校宛學則請求  
ナサイ(返信封封入)

## 文部大臣認可 藤田女學校

電話 三二八番

## 産科 醫學博士 婦人科 五十嵐雄二

病室増築、手術室完備  
平市新川町「電話三六九番」

### 家政婦會の御利用下さる

## 日下家政婦會

會員同志の御加入(派出なき開眼に裁縫や)を御誘ひ致します(綿物をお教授致します)

會長 日下すい子